



## 八王子国際フレンドからのメッセージ



### 台湾

#### プロフィール

名前：洪 正宇 (コウ セイウ)

出身地：台湾・桃園県

日本在住：六年目

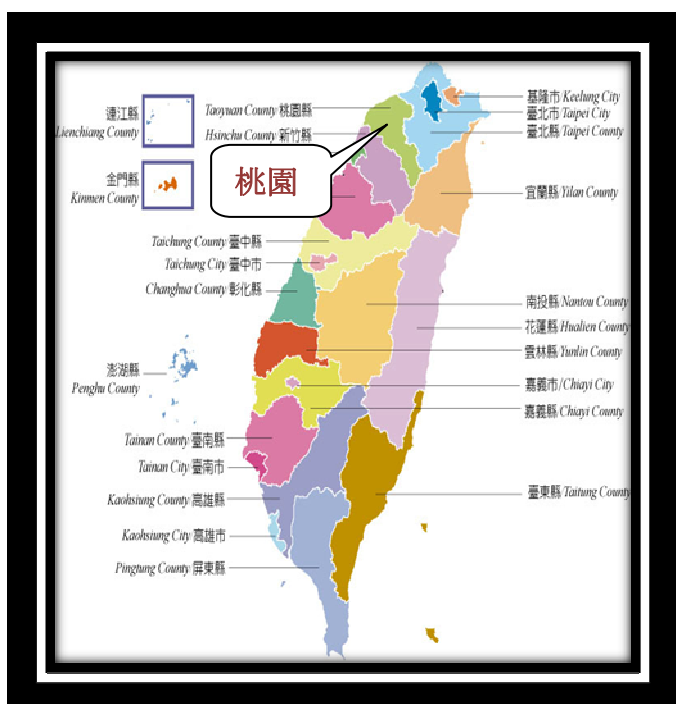
趣味・特技：水泳、歌、絵画、ピアノ、音楽絵画鑑賞、料理、旅行、習いごと、語学、読書、書道、演劇、作文。

出身大学：創価大学

好きな言葉：【ありのまま】

【勝つこととは負けないこと】

【報恩感謝】



#### 自己紹介



はじめまして、洪正宇と申します。笑うことが大好きなので、素敵な笑顔の友達に囲まれています。教育の道を志し、将来は日本と台湾の友好関係が末永く築かれることを願って日々精進しております。「冬は必ず春となる」が座右の銘であり、今受けているすべての苦労は絶対将来に活かすことができると信じて、日本での留学生活を送って参りました。私は何のために創価大学へ留学をしに来たか、考えることもあります。私は誰よりも三倍多く勉強して、そして親孝行をしていくと決意し努力を惜しみませんでした。日々の生活で挫けそうな時には友達と支え合い、寂しいときには母親が編んでくれたマフラーが心の支えでした。死に物狂いで勉強し、努力を重ね、語学を磨いて、心の通い合う日本人の親友ができたことは最も嬉しかったことです。



## はっか 自国紹介 (客家文化)



台湾は、面積が狭い割には民族も文化も多彩で地形と文化遺産にも富んでおります。そこで今回は、客家文化をテーマとして取り上げて紹介します。主に丘陵や山地に分布している客家人たちが昔、先祖達が苦勞に耐え、困難を恐れずに環境を改善することに勇んで努力したことで、人間と環境の良好な関係が保たれてこられました。その結果、客家人たちは台湾山脈の開拓に貢献したと言われております。丘陵はお茶の栽培に適しているため、開墾に伴ってお茶の生産も盛んになりました。



食に関して客家人は「勤儉」(※)の習慣を代々守っているので質素なイメージがあります。労働作業の多い客家人はしょっぱい料理を食べることが多く、そうやってカルシウムを補充してきました。独特な味と風味の料理や美味しい料理が多数ありますので、美食家達にとっては一度味わってみたいところではないでしょうか。



文化を大切にすることは客家人たちのもう一つの特徴だと言われております。その代表的な象徴は「敬惜字紙」(※)の旧習です。伝統的な客家人にとって、字を作ることは難しく、「文字」は神聖だと思われているため文字の書いた紙を勝手に捨てることは許されません。文字の書いた紙や書籍を処理する際には専用の「聖蹟亭」(※)あるいは「惜字亭」(※)のところに集めて燃やします。



総じて、台湾といっても様々です。もし市民の皆様が台湾にいらっしゃる機会がありましたらぜひ客家文化に触れてみてください。

(※)「勤儉」：勤勞と節約の意味です。

「敬惜字紙」：字の書いた紙を尊敬し惜しむという意味です。

「聖蹟亭」：紙を燃やす焼却炉のようなものです。

「惜字亭」：同上。